

サークル活動完了報告書

サークル名	Brain	発表者	東間 宏美
		リーダー	東間 宏美
部署	4階西病棟	サブリーダー	行政 美穂
活動期間	開始:平成 23 年8月 18 日 終了:平成 23 年 12 月 26 日	メンバー	関留美子、佐々木智宏
会合状況	会合回数 <u>4 回</u> 1回あたりの会合時間 <u>30 分</u>		
所属長/推進メンバー	関留美子	所見欄	
レビュー担当者	株)麻生 向野早苗		

テーマ

脳卒中地域連携パスについて理解を深め、退院指導に活用することで患者様・家族の安心度の向上を図る。

テーマ選定理由

- ・脳卒中地域連携パスが始動となったが、実施状況や内容の理解に差が感じられる。
- ・看護師から家族へのパスについての説明が十分行えていないのではないかと。
- ・看護師のパスに対する知識の向上と、説明内容を統一し、退院指導に活用することで、安心して退院していただける退院指導が実施できるのではないかと。

以上を理由にテーマに選定。

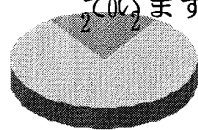
現状把握

看護師の脳卒中地域連携パスについての理解度を調べるため、アンケート、小テストを実施した。

脳卒中地域連携パスアンケート集計結果 (研修会開催前)

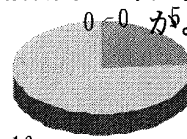
回答数 21/21

1、適応となる対象疾患を知っていますか。



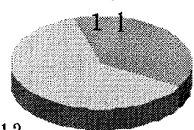
- 全く知らない
- 知らない
- 知っている

2、活用する目的を知っていますか。



- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

3、どのような内容が記載されているか知っていますか。



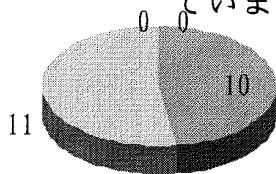
- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

4、患者様、家族にとってどのようなメリットがあるか知っていますか。



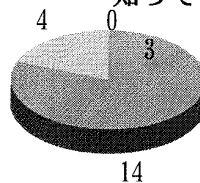
- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

5、病院、スタッフにとってどのようなメリットがあるか知っていますか。



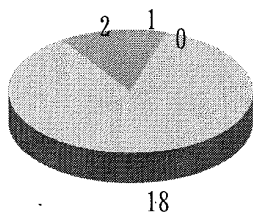
- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

6、活用した時の診療報酬について知っていますか。



- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

*退院時に患者様・家族に説明をしていますか。



- 全くしていない
- していない
- 少ししている
- 内容まで説明している

*脳卒中地域連携パスに入力したことがありますか。

- ①ある 19人
- ②ない 2人

①とこたえられた方にお聞きします。

*入力された時や患者様・家族に手渡す際など使いづらいと感じることはありますか？多数回答で構いません。あてはまる物に○をしてください。その他にあれば記入もお願いします。

- ① 特にない。 5人
- ② 記入するところが多い 1人
- ③ どこを記入すればいいかわかりにくい。 2人
- ④ どの用紙を準備し、渡すか分かりにくい 7人
- ⑤ 患者様・家族にたいして何を説明したらよいか分かりにくい 9人

(フリー記載)

パスを説明する際に何を説明すればいいか分からない。

渡しする用紙の一覧が分かりやすいところに置いてあるとやりやすい勉強会をしてほしい

小テストでしたパスの内容を伝達ノート乗せるなど情報を出してほしい

入力のみで流れが分からないので、入院してからの流れや、必要書類なども知りたい。

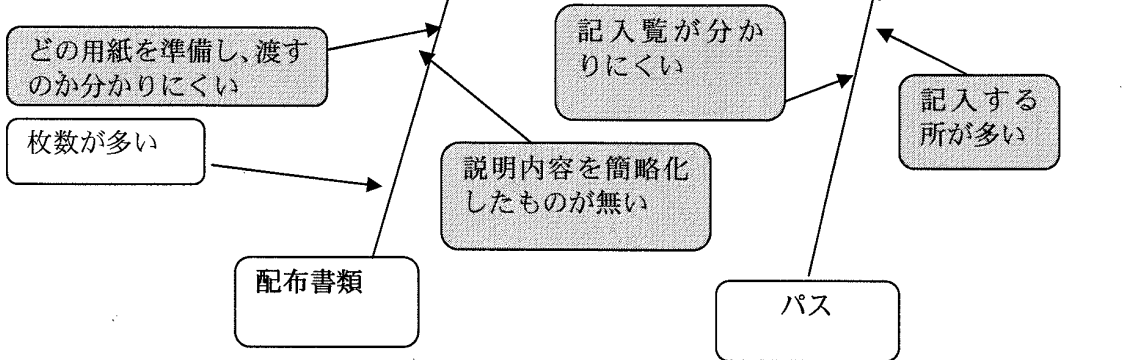
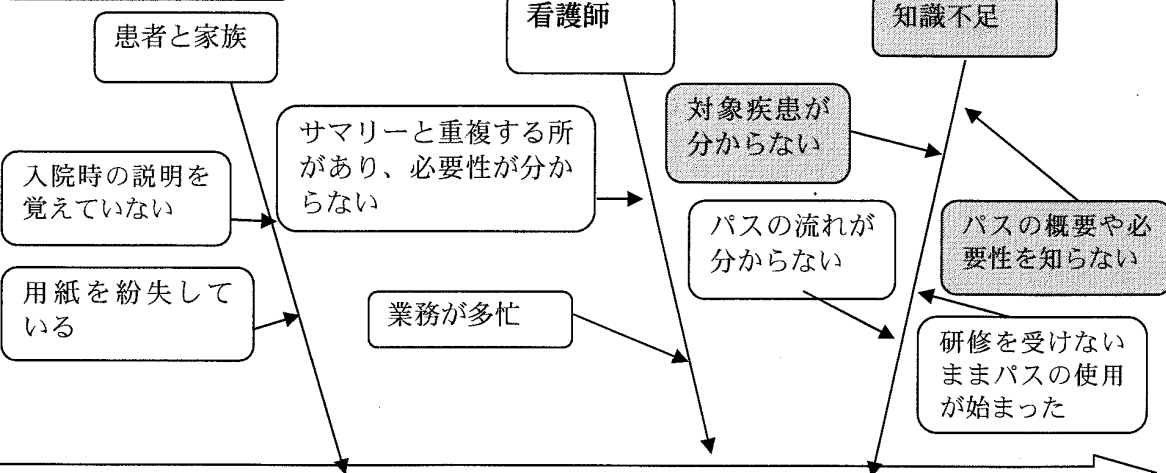
小テストの結果・・・平均点4点 /10点

目標設定

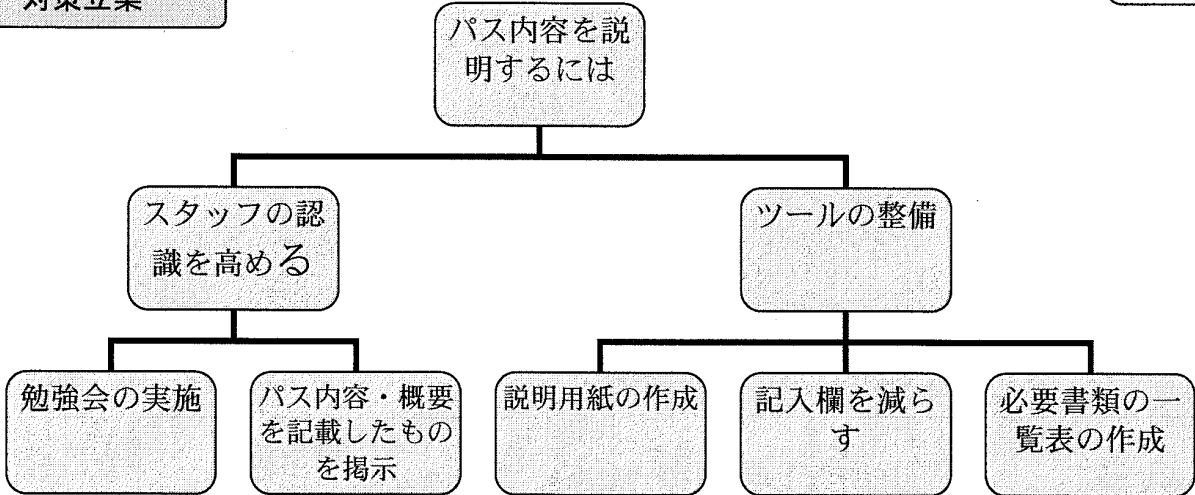
「パスの内容、患者・家族にとってのメリットを知っているが100%となる。」アンケートの結果、活用しているにも関わらず、どのような内容が記載されているか知らない人は33%に達し、患者様、家族へのメリットについて知っている人は57%と低い結果となった。また、退院時にパスについて説明は行っているものの、内容まで説明しているのはわずか9%という結果であった。このことから、看護師の知識不足があり、これにより患者様・家族への説明が十分行われていないことがわかった。このため、看護師の知識向上を目標とし、パスの内容、患者・家族にとってのメリットを知っているが100%となることを目標とした。

なぜ、退院指導にパスの内容を説明できていないのか？

要因解析



対策立案



効果	◎	○	○	○	○
実現性	◎	◎	◎	×	◎
持続性	△	◎	○	○	◎
経済性	○	○	○	×	○
評価	14点	16点	14点	6点	16点

*◎:5点 ○:3点 △:1点 ×:0点 14点以上を実施

対策実施

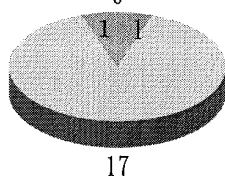
When	what	who	where	why	how
10/28, 11/10	勉強会	CS メンバー	カンファレンスルーム	パスに対する認識、知識を深める	パスの立ち上げに関わったメンバーから勉強会を行ってもらおう。
11/25 ~ 12/6	勉強会後のアンケート	病棟スタッフ	病棟	勉強会実施後の効果の確認	勉強会前に行ったアンケート、小テストを行う。
12/20、12/26 常時	パス概要の説明用紙の作成、説明会、掲示	CS メンバー	ナースステーション	認識の向上、内容が統一した患者様への説明の実施	パス概要を簡略化したものを作成し、スタッフに説明し、掲示する。
12/20、12/26、常時	必要書類の一覧チェックリストの作成、説明会、掲示	CS メンバー	ナースステーション	認識の向上、統一した患者様への説明の実施	患者さまへ渡すパスの書類の一覧を作成し、チェックリストにしたものを作成、スタッフに説明し、掲示する。

- ・脳卒中地域連携パスの内容、メリット、必要性等の内容で勉強会を2回行い、参加できなかったスタッフには勉強会資料を配布した。
- ・パスの概要説明用紙とチェックリストの活用方法について説明会を2回行い、掲示した。参加できなかった方に対しては参加者から伝達していただくこととした。

効果確認

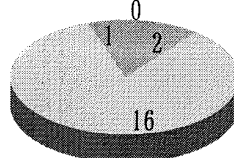
勉強会前に実施したアンケート・小テストを行った。

3、どのような内容が記載されているか知っていますか。



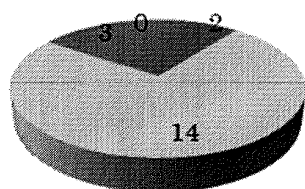
- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

4、患者様、家族にとってどのようなメリットがあるか知っていますか。



- 全く知らない
- 知らない
- 知っている
- よく知っている

*退院時に患者様・家族に説明をしていますか。



- 全くしていない
- していない
- 少ししている
- 内容まで説明している

小テストの結果・・・平均点7点 /10点満点 19人回答

「パスの内容、患者・家族にとってのメリットを知っているが100%となる。」を目標にしていたが、目標達成には至らなかった。調査の結果、勉強会実施前に比べ、勉強会後はパスの内容について知っているが95%、メリットについては89%が知っているに増加し、小テストの平均点も7点となった。勉強会を行ったことで、看護師の知識の向上には効果があったといえる。

標準化

When	what	who	where	why	how
常時	パス概要の 説明用紙の、 掲示	既存のものを 使用	ナースステーション	認識の向上、内容が 統一した患者様への 説明の実施	掲示し、退院指導時 の説明に活用
常時	必要書類の 一覧チェック リスト掲示	既存のものを 使用	ナースステーション	認識の向上、統一し た患者様への説明の 実施、準備書類のチ ェック	書類作成時、チェッ クリストとして活 用。

まとめと今後の課題

勉強会を行ったことで、看護師の知識の向上は図れたものの、目標達成には至らなかった。脳卒中地域連携パスについて十分な説明を行っていくためには知識は不可欠であり、スタッフの意識づけを継続していくとともに、統一した説明の実施を行っていく必要がある。また、説明用紙やチェックリストの活用を実施し始めたばかりであり、効果の有無を調査していくとともに、修正をかけより活用しやすいものにしていく必要がある。

今回、看護師の知識向上に重点を置いて取り組んだ。今後は得た知識を活用し、患者様・家族に安心して退院していただける退院指導を実践していけるよう引き続き取り組んでいきたいと思う。